

<報道発表資料>

カテゴリー:お知らせ

令和4年8月30日

**埼玉県鉱工業指数（令和4年6月分、第2四半期分）
 ～令和4年6月分は生産が2か月ぶりの「大きな上昇」～**

鉱工業指数は景気や経済の動きを把握することを目的としており、製造業の事業所における活動状況を表すものです。

景気の動きに敏感で、速報性があるため足下の景気動向を判断する指標の1つとなります。

1 令和4年6月分

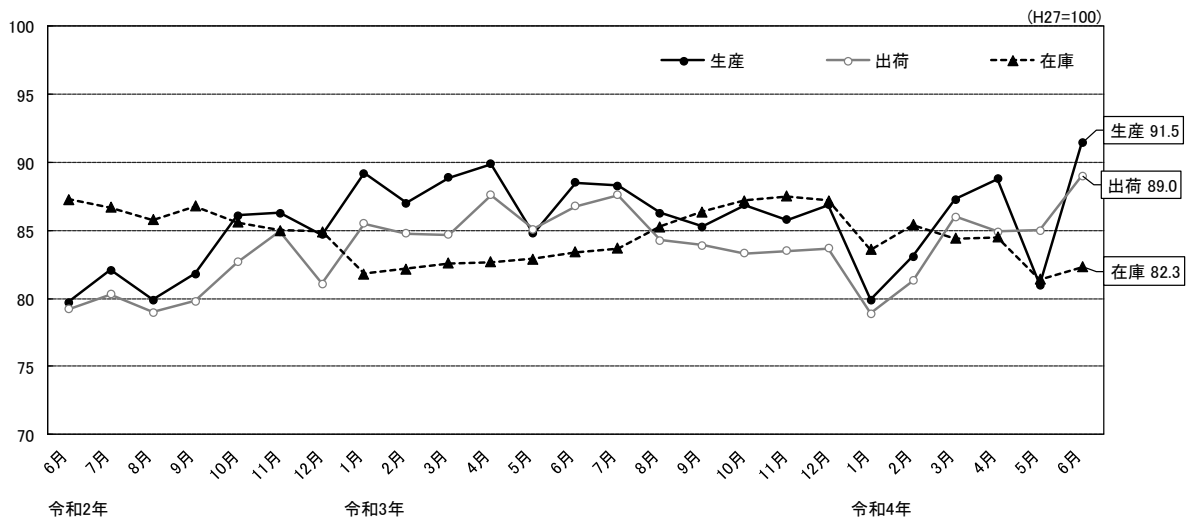
生産は2か月ぶりの上昇、出荷は2か月連続の上昇

(1) 概要

令和4年6月の生産指数は、生産用機械工業、化学工業などの上昇により2か月ぶりの上昇となりました。出荷指数は、生産用機械工業、輸送機械工業などの上昇により2か月連続の上昇となりました。在庫指数は2か月ぶりの上昇、在庫率指数は2か月連続の低下となっています。

(平成27年=100)

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
生産	91.5	13.0	3.4
出荷	89.0	4.7	2.6
在庫	82.3	1.1	-1.3
在庫率	97.0	-1.9	-1.2



(2) 業種・品目別動向（生産・出荷23業種）

＜生産＞ 上昇・17業種、低下・6業種

フラットパネル・ディスプレイ製造装置などを含む生産用機械工業、医薬品などを含む化学工業など17業種で上昇しました。

一方で、炭酸飲料などを含む食料品工業、平版印刷（オフセット印刷）などを含む印刷業などの業種で低下しました。

＜出荷＞ 上昇・17業種、低下・6業種

フラットパネル・ディスプレイ製造装置などを含む生産用機械工業、自動車エンジンなどを含む輸送機械工業など17業種で上昇しました。

一方で、炭酸飲料などを含む食料品工業、医薬品などを含む化学工業などの業種で低下しました。

2 令和4年第2四半期分

生産は5期ぶりの上昇、出荷は4期ぶりの上昇

(1) 概要

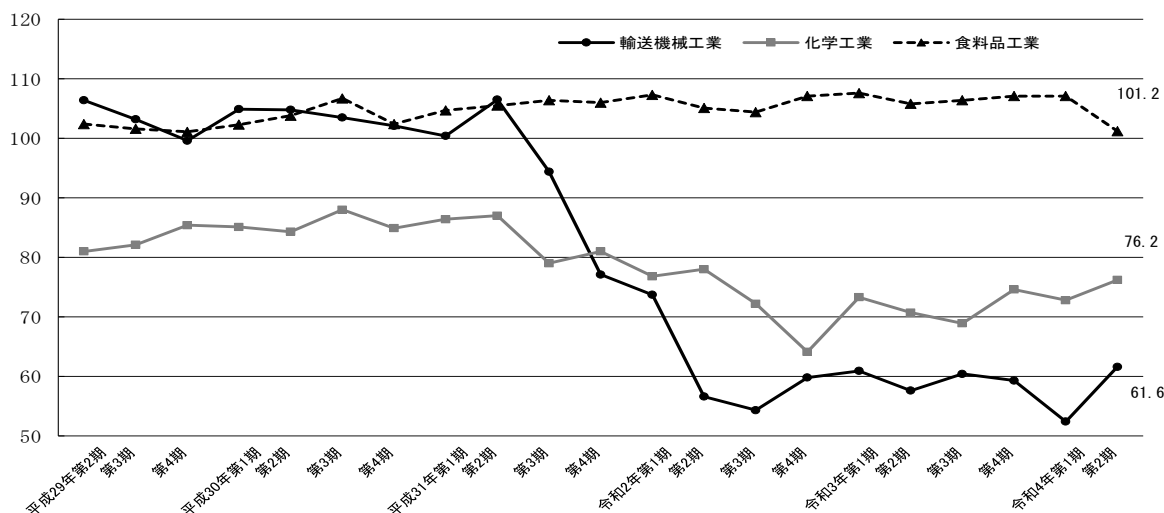
令和4年第2四半期（令和4年4月～令和4年6月期）の生産指数は、生産用機械工業、輸送機械工業などの上昇により5期ぶりの上昇となりました。出荷指数は、生産用機械工業、輸送機械工業などの上昇により4期ぶりの上昇となりました。在庫指数及び在庫率指数は2期連続の低下となっています。

（平成27年=100）

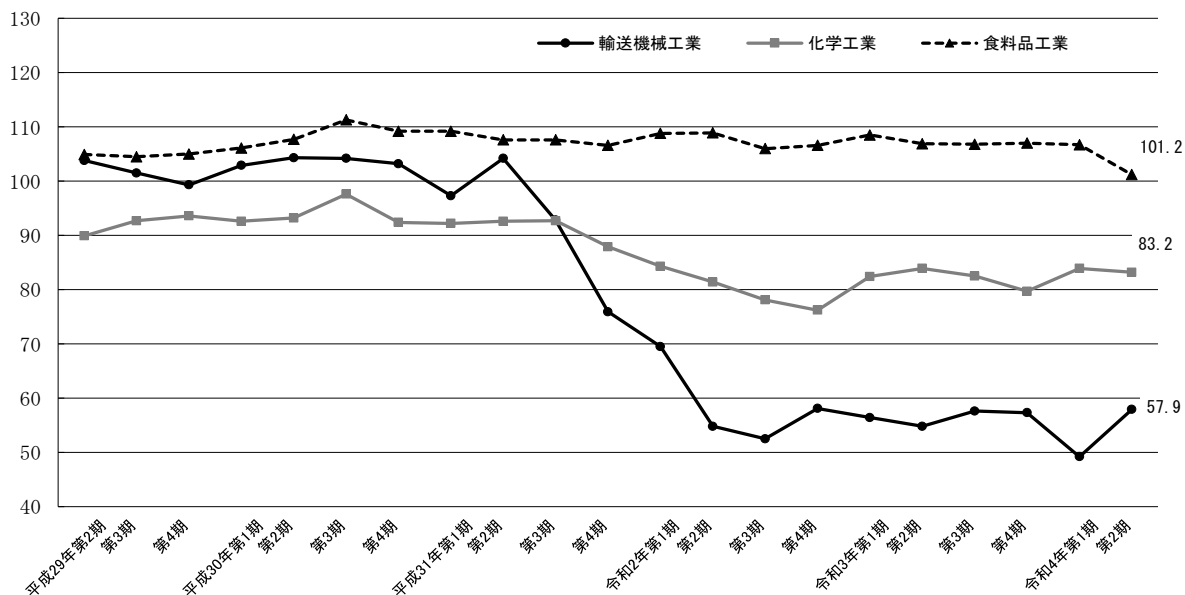
	指数	前期比（%）	前年同期比（%）
生産	87.1	4.4	-0.7
出荷	86.3	5.1	-0.4
在庫	82.3	-2.5	-1.3
在庫率	100.2	-1.6	-3.3

県内主要業種の指数推移

生産



出荷



(2) 業種・品目別動向（生産・出荷 23 業種）

＜生産＞ 上昇・15 業種、低下・8 業種

フラットパネル・ディスプレイ製造装置などを含む生産用機械工業、自動車エンジンなどを含む輸送機械工業など 15 業種で上昇しました。

一方で、炭酸飲料などを含む食料品工業、ばねなどを含む金属製品工業などの業種で低下しました。

＜出荷＞ 上昇・16 業種、低下・7 業種

フラットパネル・ディスプレイ製造装置などを含む生産用機械工業、自動車エンジンなどを含む輸送機械工業など 16 業種で上昇しました。

一方で、炭酸飲料などを含む食料品工業、水門などを含む金属製品工業などの業種で低下しました。

この統計に関するホームページアドレス
『彩の国統計情報館』埼玉県鉱工業指数のページ
<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/a099/index.html>